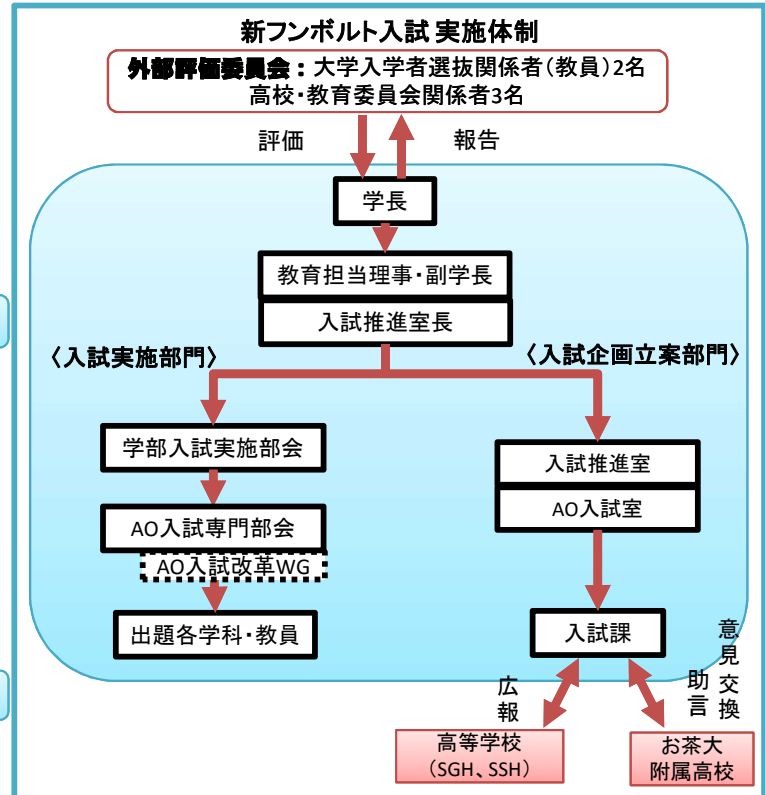
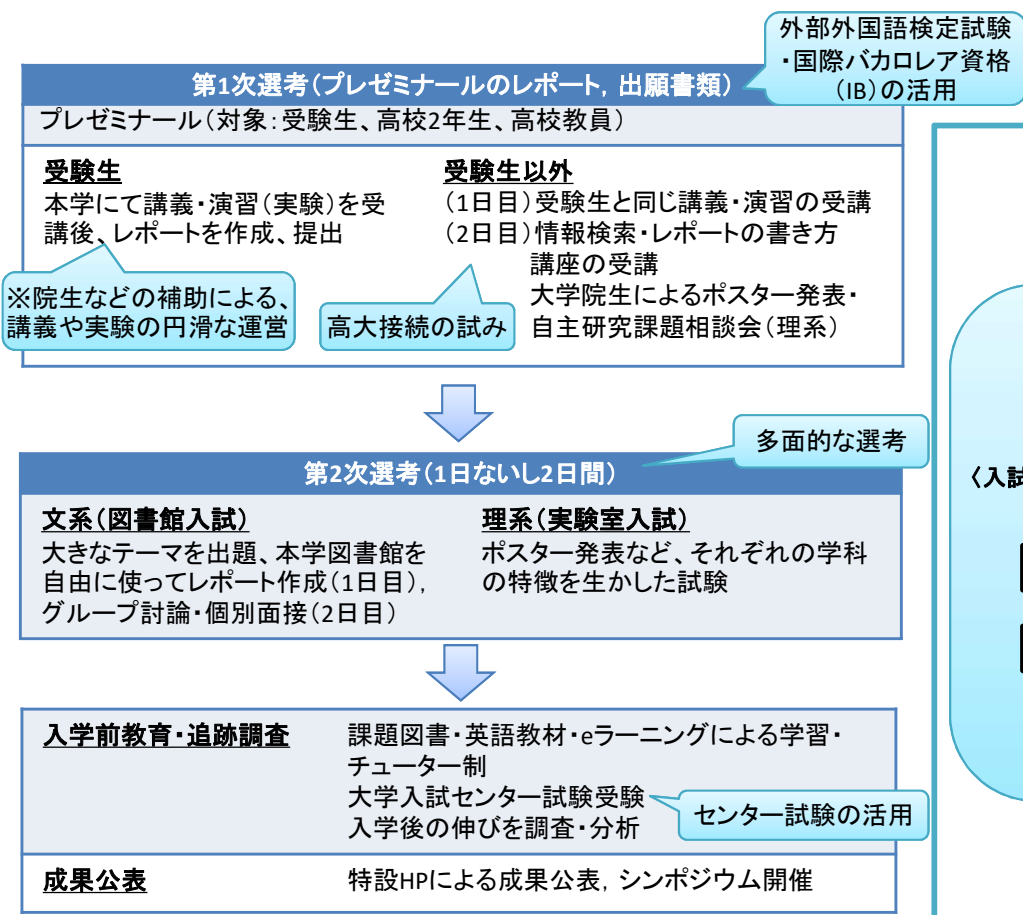
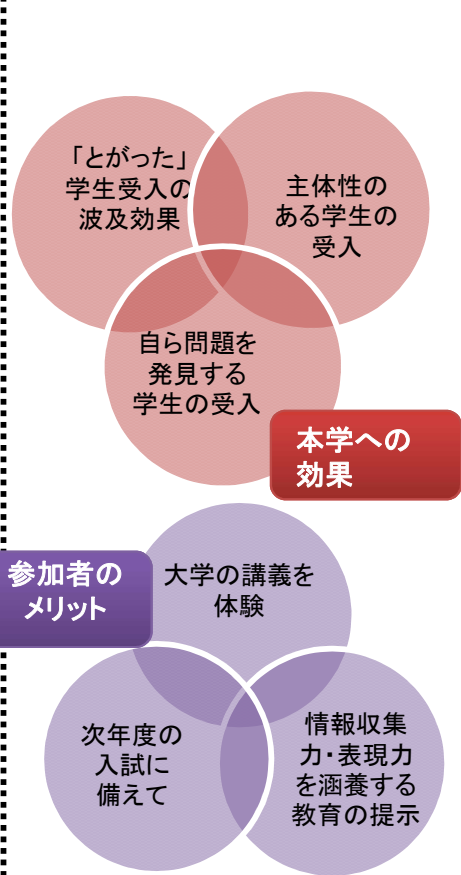


**大学等名：お茶の水女子大学**  
**テーマ：テーマⅢ（入試改革）**

**取り組み概要：** 本学の取組は、特別入試、とくに現在のAO入試を抜本的に改革し、多面的・総合的に志願者の意欲、適性、能力、基礎学力を見極める入試を構築することを目的とする。募集定員を現在から倍増させ、文理合わせて全学で20人規模とし、丁寧で手間をかけた本学独自の「新フンボルト入試」を実施する。高大接続の要素をもつプレゼミナールおよび2日間にわたる本試験を通じて、基礎学力を担保しつつ受験生のもつ潜在力（ポテンシャル）を見極める。大学入学時に知的ピークを迎える学生ではなく、入学後の学修のなかで能力を大きく伸ばし、大学院に進学し社会に出てからさらにリーダーとして飛躍しようとする「伸びしろ」のある学生を選抜する。



具体的な実施計画における指標	26年度(実績)	28年度(実績)	31年度(目標)
多様な評価尺度による入学者選抜を経た募集人員の割合 [% (募集人員/募集定員)]	2.21% (10/452)	4.42% (20/452)	4.42% (20/452)
入学者選抜に従事する役割分担別教職員の割合 【選抜方法の検討】[% (専任教員数/従事する教員数)]	0% (0/7)	10.0% (1/10)	10.0% (1/10)
入学者選抜に従事する役割分担別教職員の割合 【合否判定】[% (専任教員数/従事する教員数)]	0% (0/173)	5.56% (1/18)	5.56% (1/18)

- 多面的な能力評価を通じて「とがった」学生を受け入れることにより、学生の多様性が高まり、大学教育全体の活性化が期待される。
- プレゼミナールにより、高校教育への効果波及が見込まれる。
- 本入試改革の成果を一般入試の一部に応用可能である。